

◎ 聴解問題スクリプト

Track 22

13番 男子学生と女子学生が、竹という植物の林について話しています。この男子学生は、竹の林が思ったより少ないのは、どうしてだと言っていますか。

男子学生：今、日本の森林面積の中で竹の占める割合って1%以下なんだって。

女子学生：へえ、もっと多いような気がするけどな。私の田舎には、けっこう竹林たけばやしがあるよ。子どものころ、よく竹の子を掘ったり、竹でおもちゃを作ったりしたもの。

男子学生：うん、僕の田舎もそうだったよ。

女子学生：開発が進んで、数が減っちゃったのかな。

男子学生：いや、竹が生えているのは人里の近くで、道路わきや民家の回りの目につきやすい場所だろ。だから、たくさんあるように感じるっていうことらしいよ。森林が広がっているような山奥には、ほとんど生えてないんだって。

女子学生：そうなんだ。

この男子学生は、竹の林が思ったより少ないのは、どうしてだと言っていますか。

1. 山奥でないと繁殖が難しいから
2. 開発によって数が減っているから
3. 人間の生活圏以外にはほとんどないから
4. 日本の環境にあまり適していないから

Track 23

14番 先生が、子どもの「しつけ」について話しています。この先生は、「しつけ」の本質は何だと言っていますか。

着物を縫う時、形を整えるため、糸で仮に縫いつけておくことを「しつけ」と言います。着物を縫い終わったら、しつけの糸は必要がなくなるので、必ずはずします。子どもの「しつけ」においても、これと同様にあとで「はずす」ということが重要なポイントになります。子どもの「しつけ」と言うと、とかく礼儀作法を教えることや、社会的に認められる行動を教育することのみに焦点が当てられがちです。しかし、私は「しつけ」で大事なことは、子どもが、最終的には親の手を借りることなく、自分で正しい行動が判断できるように、導くことだと考えています。そして、きちんと「しつけの糸をはずすこと」こそが「しつけ」の本質ではないかと思うのです。

この先生は、「しつけ」の本質は何だと言っていますか。

1. 子どもに礼儀作法を身につけさせること
2. 子どもの服装や言動を親が整えること
3. 子どもに着物の縫い方を教えること
4. 子どもが成長したら、本人の判断に任せること

Track 24

15番 先生が、カラスという鳥の行動について説明しています。この先生は、2種類のカラスのうち、都会に多いカラスのえさの取り方には、どんな特徴があると言っていますか。

よく見かけるカラスには、郊外に多くすんでいるハシボソガラスと都会に多いハシブトガラスがいます。

ハシボソガラスは、林、芝生、川べり、市街地のゴミ箱と、様々な場所へ行き、時間をかけて地面を歩きながら、くちばしを器用に使って、地面をつついたり、草をかき分けたりして、えさを探します。一方、都会に多いハシブトガラスは、えさを探す場所はほとんど市街地のゴミ箱です。また、上空からえさを探し、見つけたらさっと降りてきて、またすぐ飛び去るので、地面に降りている時間がきわめて短いのが特徴です。

郊外にすむハシボソガラスのほうがえさを探す場所や、探し方が多様で、えさ探しに困らないように思えますが、舗装された道路が増えた現代では、地面をつついたりする得意技を生かすことができないのです。

この先生は、2種類のカラスのうち、都会に多いカラスのえさの取り方には、どんな特徴があると言っていますか。

1. 高い位置からえさを見つける。
2. 林や川沿いなど、様々な場所でえさを探す。
3. 草の間などに隠れているえさを見つける。
4. くちばしを器用に使ってえさを探す。

Track 25

16番 男子学生と女子学生が、物を整理する方法について話しています。この女子学生は、なかなか捨てられない思い出の品は、どうしていると言っていますか。

男子学生：昨日から部屋の整理を始めたんだけど、捨てられないものがたくさんあって。

女子学生：わかる。私は服が増えて困ったら、1年着なかったものは捨てるって決めてるんだ。

男子学生：僕の場合、服じゃないからそう簡単にはいかないなあ。

女子学生：そっか。じゃ、まず、絶対に必要なものとそうじゃないものに分けたら？

男子学生：必要じゃないってわかってても捨てられないから困ってるんだよ。友だちからもらった誕生日カードとか、小さいころ作った紙飛行機とか。

女子学生：あ、なるほど。問題は思い出のある物か。私はね、そういうものは、写真に撮ってから捨てるの。デジタルカメラで撮れば、パソコンに入れておけるから、場所をとらないでしょ。

男子学生：あ、それはいい考えだね。でも僕は、写真に撮っても捨てられるかどうか、自信ないな。

この女子学生は、なかなか捨てられない思い出の品は、どうしていると言っていますか。

1. 保存期間を決めて、それを過ぎたら捨てる。
2. 捨てる前に写真に撮っておく。
3. 必要なものといらぬものに分ける。
4. 捨てないで他の場所にとっておく。

Track 26

17番 先生が、自宅で仕事をする在宅勤務制度について話しています。この先生が例に挙げた会社では、在宅勤務制度を導入したことで、社員にどのような問題が生じたか。

インターネットなどの通信技術の発達により、会社に行かなくても自宅で仕事をする在宅勤務ができる時代になりました。この在宅勤務の制度を導入したある会社についてお話ししたいと思います。この会社では、社員が出社するのは月一回にして、他の日はメールや電話で打ち合わせを行い、部署内で定期的にお互いの仕事の進み具合を報告しあうという勤務形態にしました。はじめのうちは問題がないように見えたのですが、時間がたつにつれ、社員のほうから出社したいという声があがるようになりました。自分のペースで仕事ができるのはいいが、自分は本当にこの会社の社員なのか、会社に必要とされているのかといった懸念が社員の間で広がったのです。結局、この会社の在宅勤務制度は、失敗に終わってしまいました。

この先生が例に挙げた会社では、在宅勤務制度を導入したことで、社員にどのような問題が生じましたか。

1. 効率が悪くなり、一人当たりの仕事量が減った。
2. 会社の一員として求められているか不安になった。
3. 社員同士の仕事の連携がとりにくくなった。
4. 他の部署への異動を希望する社員が増えた。

Track 27

18番 ニュースキャスターという仕事をしている男性がインタビューに答えています。この男性は、この仕事をする上で最も重要なのは、どうすることだと言っていますか。

女性：ニュースキャスターは、ニュース原稿を読むだけではなく、自分でコメントを加えたりしますよね。このような仕事をするのに必要なことは何でしょうか。

男性：私は、三つのことを挙げたいと思います。まずは、人間というものについての考えをしっかりと持つことです。

女性：それは、若いうちはなかなか難しいかもしれませんね。

男性：そうですね。ですが、これが最も重要なことだと思います。これを身につけているかどうかで、表現する内容が違ってくるんです。

女性：そうですか。

男性：次に、起こった出来事を、歴史の中に位置づけて考えることです。これは、その出来事がどのように発展していくか予測することにつながります。

女性：なるほど。

男性：そして、三つ目ですが……。人間はそれぞれ異なった文化を背景に生きています。いろいろな文化について考え、自分なりの文化観をもつことも忘れてはいけないことです。

この男性は、ニュースキャスターの仕事をする上で最も重要なのは、どうすることだと言っていますか。

1. 物事を歴史の流れの中でとらえること
2. 過去の経験から未来を予測すること
3. 自分なりの文化観を持つこと
4. 人間について考えること

Track 28

19番 先生が、コーヒーの作用について説明しています。この先生の話によると、最近の研究でわかったことは何ですか。

コーヒーは、私たちの体にどのような作用をもたらしているのでしょうか。昔から知られているのが、コーヒーを飲むと眠気が覚めるという覚醒作用です。これはコーヒーに含まれるカフェインという成分によるものです。また、最近では、コーヒーの香りの効果に関する研究が進んでいます。いろいろな香りをかいだときの脳波を測定してみると、コーヒーの香りをかいだときは、脳の中で、 α 波が増えるということが明らかになったのです。 α 波は、緊張がやわらいだり、リラックスした気分のときにあらわれる脳波です。そしてこの脳波は、コーヒーの香りが好きな人にも嫌いな人にもあらわれるということです。

この先生の話によると、最近の研究でわかったことは何ですか。

1. カフェインには、眠気を覚ます効果があること
2. カフェインには、リラックス状態を示す脳波を増やす効果があること
3. コーヒーの香りには、眠気を覚ます効果があること
4. コーヒーの香りには、リラックス状態を示す脳波を増やす効果があること

Track 29

20番 女子学生が先輩の男性に、新入生を対象にしたクラス合宿について話しています。この先輩は何が大切だと言っていますか。

女子学生：先輩、今週末、新しいクラスのみんなで行く合宿があるんです。でも、入学してまだ問もないし、初めての人と話すの、緊張するんですね。

先輩：僕もそうだったから気持ちわかるな。でも、行ってみれば何とかなるもんだよ。

女子学生：そうですか。うまく友だちになれるかな……。

先輩：そのためには、話しかけられるまで待ってるんじゃなくて、自分から話しかけるようにしなきゃ。

女子学生：それはわかってるんですけど、なかなかきっかけがつかめないんです。

先輩：そっか。でも、まあ、みんなおんなじような気持ちだと思うから、あまり構えないで、隣に座った人に声をかけたりしてみたら？ 話してるうちにお互いの共通点が見つかるかもしれないし。

女子学生：そうですね。

この先輩は何が大切だと言っていますか。

1. 見たことのある人に話しかけること
2. 気を楽しんで積極的に話しかけること
3. 相手の気持ちを考えること
4. 声をかけられたら落ち着いて話すこと

Track 30

21番 先生が、美術館での作品の鑑賞方法について説明しています。この先生は、美術館を楽しむにはどのようにすればいいと言っていますか。

美術館は、ちょっと入りにくいような雰囲気があって、「堅苦しい」とか「楽しめない」といった気持ちを持っている人が多いかもしれませんね。でも、美術館なんて、散歩や買い物ついでにブラリと立ち寄るところだ、ぐらいに考えましょう。たとえ有名な作品や人気がある作品であっても、全部の作品を時間をかけて鑑賞したり、解説のパネルをじっくり読んだりする必要はありません。横目でチラチラ見ながら歩けば十分です。疲れ果ててしまい、美術館の作品を見て歩くことが苦痛になっては意味がないからです。みなさん、ぜひ美術館に足を運び、肩の力を抜いて楽しんでください。

この先生は、美術館を楽しむにはどのようにすればいいと言っていますか。

1. 専門知識のある人と見に行く。
2. 気軽な気持ちで見て回る。
3. まず有名な絵から鑑賞する。
4. 絵の解説をしっかりと読む。

Track 31

22番 生物学の先生が、オランウータンという動物の行動について話しています。この先生は、別々の地域にすむオランウータンが同じ行動をとる場合、その理由は何だと言っていますか。

オランウータンは、チンパンジーなどと同じ類人猿、つまり猿の仲間ですが、オランウータンも、文化的な行動をとるといえることが、わかっています。例えば、ある地域のオランウータンには、唇の間から舌を出し、ぶーっという音を出して「おやすみ」のあいさつをするという行動が見られますが、このような行動が見られる地域は限られています。オランウータンには、このように限られた地域でしか見られない行動が何種類も報告されています。そして、遠く離れた地域にすむオランウータンには同じ行動が見られないのですが、すむ場所が近くなるほど共通の行動が多くなるということも観察されています。こうしたことから、これらの行動は、別の地域のオランウータンが見たり聞いたりしたことにより伝わったもの、すなわち「文化」と言えるものだと考えられています。

この先生は、別々の地域にすむオランウータンが同じ行動をとる場合、その理由は何だと言っていますか。

1. 別の地域での行動を見聞きしたから
2. すんでいる自然環境が似ているから
3. 生まれつき同じ行動ができるから
4. チンパンジーの行動をまねたから

Track 32

23番 女子学生と男子学生が、ある地域の取り組みについて話をしています。この女子学生は、この地域で割れた窓をすぐに直すようにした一番の理由は何だと言っていますか。

女子学生：今日、ニューヨークのある地域で実際に行われた取り組みについて習ったんだ。

男子学生：え、どんな取り組み？

女子学生：えっと。この地域で、空きビルに割れたガラス窓があったらすぐに直すようにしたんだって。

男子学生：ああ、窓が割れたままだったら危ないし、街の美観も損ねるから？

女子学生：うん。そういうこともあるけど、この取り組みの目的はちょっと違ってね……。

男子学生：うん。

女子学生：空きビルの割れたガラス窓を、1枚でもそのままにしておくと、「どうせ割れるんだから、もっと壊しても構わないだろう」という人間の心理がはたらくんだって。

男子学生：じゃ、ビルがもっと荒らされるようになるってこと？

女子学生：そう。で、徐々に街の荒廃が進んで、犯罪も増えていくんだって。でも、割れたガラスをすぐに取り替えると、そういうことが防げるらしいよ。

男子学生：へえ、それで、すぐに直すようにしたのか。

この女子学生は、この地域で割れた窓をすぐに直すようにした一番の理由は何だと言っていますか。

1. そのままにしておくと別の犯罪につながるから
2. 割れたガラス窓は大変危険だから
3. 荒れたビルが街の美観を損ねるから
4. ガラス窓の修理を地域住民が求めたから

Track 33

24番 先生が、経済学の授業で、車の工場生産について話しています。この先生は、生産方法が変化してきているのはどうしてだと言っていますか。

今日は、自動車メーカーを例に、生産方法の変化についてみていきましょう。車の生産工場といえば、以前は、専用のラインを使って同じ車種の車を次々に生産していくのが主流でした。これは、同じ車を大量に生産する場合には、生産単価を低く抑えることができる効率的な方法です。しかし、一定の生産量が確保されなければ、逆に生産効率が落ちて生産単価が跳ね上がってしまいます。また、別の車種の車を作るためにラインを切り替えるには、大がかりな設備交換作業が必要になります。最近では消費者の好みも多様化して、売れる車種は常に変化しています。大量生産をしていては、そのような変化に素早く対処できません。そのため最近では、いろいろな車種に対応できる生産ラインを作り、様々な車種を少しずつ生産する方法に変わりつつあるのです。

この先生は、生産方法が変化してきているのはどうしてだと言っていますか。

1. 高品質の商品を生産することが重視されているから
2. 生産する車の種類を柔軟に変えていく必要があるから
3. 大量生産による単価の引き下げが求められているから
4. 一定の生産量の確保が最優先されるから

Track 34

25番 先生が、子どもの遊びについて話しています。この先生は、自転車に乗る子どもが増えたことで、どんな変化があったと言っていますか。

私が子どものころは、小学校の高学年になってやっと自転車を買ってもらえたのですが、今は、幼稚園のころからすでに自分の自転車を持っているようです。自転車は子どもにとって遊び道具でもありますが、大人と同じように移動の手段としても便利なものです。今まで歩いて行くことができなかった公園や友だちのうちにも、自転車で行くことができるようになります。実際、子どもに自転車が普及したことで、家から遠い公園を利用する子どもが増えています。ある調査によると、1970年代は、公園の主な利用者は、公園から半径250メートルぐらいの区域に住んでいる子どもでした。しかし、その後の調査によると、ある公園では、およそ20年の間に、その区域が半径900メートルにまで大きくなっていることがわかったのです。

この先生は、自転車に乗る子どもが増えたことで、どんな変化があったと言っていますか。

1. 大きな公園が増えた。
2. 児童公園の数が不足するようになった。
3. 子どもの行動範囲が広がった。
4. 子どもの運動能力が向上した。

Track 35

26番 先生が、新しく開発された窓ガラスについて話しています。この先生の話によると、

この窓ガラスが開発された一番の目的は何ですか。

北向きの家や隣の建物が近い家は、日当たりが悪いために暗くなりがちです。窓から光が差し込んでも、部屋の奥は光が差し込まず、薄暗いということがよくありました。そのような問題を解決するため、今回新しく窓ガラスが開発されました。外側のガラスには光を屈折させるフィルムが貼られ、内側には光を拡散させるガラスが使われています。窓から入った太陽の光は、まずフィルムで屈折して斜め上に曲がり、次に天井の広い範囲に拡散します。そして、天井で反射したその光が、部屋全体に広がるという仕組みです。住宅の天井は、白い色が多く使われているため、反射率も高く、昼間の照明を節約することができます。また、光が屈折したり拡散したりすることで、物がぼやけて見えるため、外から室内が見えにくいという特長もありますし、防犯の面からも実用性は高そうです。

この先生の話によると、この窓ガラスが開発された一番の目的は何ですか。

1. 部屋の全体を明るくする。
2. 部屋から外の景色を見やすくする。
3. 外部の熱を伝えにくくする。
4. 外から侵入しにくくする。

Track 36

27番 先生が、脳の神経組織に関する研究について話しています。この先生は、例に挙げた研究からどのようなことが推定されると言っていますか。

ヒトの脳の神経細胞は、大人になるにつれて減っていくと考えられています。しかし、脳の「海馬」という部分は例外で、この部分の神経細胞は増える可能性があると言っています。海馬というのは、場所に関する情報を保持するというのもわかっています。

これに関して、面白い研究が行われました。ロンドンのタクシー運転手と、一般の人の脳の断面を調べたのです。すると、タクシー運転手の海馬は、一般の人より大きいことが判明しました。しかも、運転手としての経験が長い人ほど、大きかったのです。タクシー運転手というのは、仕事柄、たくさんの道路や施設の場所を記憶しておく必要があることは、みなさんも想像がつくと思います。この研究結果は、記憶量と海馬の大きさとの関連について、一例を示したことになると言えるでしょう。

この先生は、例に挙げた研究からどのようなことが推定されると言っていますか。

1. 様々な場所の情報を記憶すると、海馬の体積が増大する。
2. 車を運転することにより、海馬の体積が減少する。
3. 海馬の体積が大きい人は、タクシー運転手に適さない。
4. 海馬の体積の増減と職業には、関連が見られない。